

起因物、事故の型：その他の環境等 - 動作の反動無理な動作の死傷災害発生事例（2017年）

| 2017 年 発生 月 | 時間 | 死傷災害発生事例 | 年 齢 | 業種小 コード | 労 働 者 規 模 |
|----------------------|-----------|---|--------|------------|-----------------------|
| 1 | 11~ 12 | 2tトラックの荷台上から降りようと左片足で着地した。その際、凍結した路面だったため転びそうになり、身体を支えるために左足を踏ん張ったが、更に左膝を地面にぶつけてしまった。 | 40 | 40301 | 10 ~ 29 |
| 1 | 19~ 20 | 4tトラックで引き取りに行き、積み込み終了後、ゲートの上から降りる時、地面に氷の上に雪が被さっていたのに気付かずに滑り、左膝半月板を痛めた。 | 42 | 40301 | 50 ~ 99 |
| 1 | 19~ 20 | 入浴介護で利用者様を浴室の床からイスへ引き上げた時に痛めた。 | 46 | 130201 | 10 ~ 29 |
| 1 | 8~9 | デイサービス利用者宅の庭において、車イスの利用者の移動介助をしていた際、予想以上に重かったため耐えきれず、右膝をひねり負傷した。 | 48 | 130201 | — |
| 1 | 16~ 17 | 入浴時の着脱介助中、もう一人の生活支援員抱き足のタイミングが合わなかった。そのため、当該者が利用者を一人で抱えるようになり、そのときに腰に痛みが生じた。 | 33 | 130201 | 100 ~ 299 |
| 1 | 8~9 | 利用者の方をトイレに誘導中、同利用者に右足脛の横を蹴られ、右側腰部に激痛がはしり、腰椎圧迫骨折を負った。 | 68 | 130201 | — |
| 1 | 11~ 12 | 駐車場にて部品を届ける際、車から降りて、2、3歩歩いた時、大雪で凍結した雪の固まりに引っ掛かって右足を捻り、2~3分位歩く事ができなくなった。 | 47 | 80109 | 1~ 9 |
| | | デイサービス利用者様を迎えに行き、自宅前廊下で利用者様を車イスに乗 | | | |

| | | | | | |
|---|-------|--|----|--------|-----------------|
| 1 | 8~9 | せようとした際、利用者様にいきなり髪の毛を?まれ強く引っぱられてしまった。首が勢いよく後ろに反ったため強い痛みを生じて、首を動かすことができなくなった。 | 29 | 130201 | — |
| 2 | 14~15 | 住宅新築現場で（基礎完了）準備の際排雪作業中、不安定な場所での作業や、積雪量も多く、重い雪での排雪作業中、右肩に痛みが発生し作業が出来なくなった。重機では出来ない所は人力での作業となる。 | 60 | 30202 | — |
| 2 | 10~11 | 現場を見て、確認出来るものはないが、本人の証言によると、災害当日、利用者が、車両から降りる際、本人に抱きつき、対応しきれず、体に負担がかかったという事である。持病もあり、連鎖的に、弱かった部分に負担がかかってしまったことによるケガとなる。場所は、駐車場である。現場は、雪が積もり、足元は、滑りやすい状況であった。 | 56 | 130201 | — |
| 2 | 8~9 | 公用車駐車場にて運行前に公用車の上に積もった雪を払った後、病院の正面玄関へ向かう途中、敷地内の道路（ロータリー）の凍っていたところに足を滑らせてしまった。その際、右足がスーッと滑り伸びた状態になり、左膝に体重がかかり曲がった時にバキッと音がした。（左膝は道路に打ちつけていない。）この時、同時に痛みもはしたため、病院を受診した。レントゲン撮影の結果、骨折していた。 | 68 | 130101 | 300 ~ 499 |
| 2 | 5~6 | 入居者をベッドから車いすへ移動させようと介助していた時、左膝に力が入り過ぎ痛めたものである。負傷当日は大したことがないと思い様子を見ていたが、翌日になって腫れてきたので受診したものである。その後、同じ病院で数日通院し、多少の痛みは有ったものの働いて様子を見ていたが、一向に良くならないため違う病院で治療を受けたものである。 | 39 | 130201 | 10 ~ 29 |
| 2 | 9~10 | 当施設ユニット内トイレで入居者様の、トイレ介助にて車イスから便座に移乗した際、座りが浅かったので奥深く座ってもらおうとして、力を入れた時入居者様の体重がかかり腰に痛みがはしり、全く動けなくなり受傷した。 | 52 | 130201 | 50 ~ 99 |
| 2 | 18~19 | 徒歩で移動中、積雪の徒歩が不慣れの為、作業終了後タクシーに乗車しようとして徒歩で移動中、積雪に足を取られ転倒しそうになり左足で強く踏ん張 | 44 | 170209 | — |

| | | | | | |
|---|-------|---|----|--------|-----------------|
| | | りふくらはぎを痛めた。 | | | |
| 2 | 7~8 | 自室にて利用者様をベッドからリクライニング車椅子へ移乗していた際、自力で身体を動かすことが出来ない状態である利用者様であった為、持ち上げる動作が必要であった。非常後右肩甲骨下方にピリッと痛みが発生する。 | 60 | 130101 | 300 ~ 499 |
| 2 | 11~12 | 入所者様のケアが終わり、入所者様の身体が足元に下がっていたため、本人の背と腰の下に自分の手を入れてベッド上方に動かそうとした際に腰に激痛が起こり立っているのも座っているのも辛い状態になった。 | 31 | 130201 | 50 ~ 99 |
| 3 | 14~15 | 配達先で車を降りて配達先前の私道を歩いていたとき、民家奥の車庫の陰から鹿が目の前に飛び出してきたため、咄嗟に逃げようとしたところ、湿った泥道で足が滑り、右膝を地面に打ちつけ、右膝靭帯損傷を負った。 | 49 | 110101 | 100 ~ 299 |
| 3 | 13~14 | キャディ業務中、打者のボールが左に大きく曲がったため、そのボールを探すため歩いていた際、落ちていた松ぼっくりを踏み左足を痛めた。 | 59 | 140301 | 30 ~ 49 |
| 3 | 15~16 | サービス利用者をベッドに座らせて横にしようとしたとき、左下腿に激痛が生じた。 | 42 | 130201 | 50 ~ 99 |
| 3 | 16~17 | 以前から腰に痛みがあり通院していたが、腰椎椎間板ヘルニアと診断され2週間の安静が必要となった。 | 40 | 130309 | 10 ~ 29 |
| 4 | 8~9 | 利用者が車イスよりずり落ちそうになっているのを発見し、看護師に手伝ってもらい車イスに座ってもらう。体（上腕）を引き上げる際、右腕に一瞬痛みがはしり違和感を感じた。 | 56 | 130201 | 30 ~ 49 |
| 4 | 7~8 | 利用者をベッドから車椅子へ移乗する際、車椅子へ乗せる寸前で利用者が動いたため、無事着地させようとして自身の上半身を少し捻ったところ、背中を痛めた。 | 40 | 130201 | 50 ~ 99 |
| | | 利用者をベッドから車椅子へ移乗する際、車椅子へ乗せる寸前で利用者が | | | 500 |

| | | | | | |
|---|-----------|---|----|--------|-----------------|
| 4 | 7~8 | 動いたため、無事着地させようとして自身の上半身を少し捻ったところ、背中を痛めた。 | 40 | 170101 | ~ 999 |
| 4 | 15~ 16 | 利用者と外出し、（移動支援）利用者が急に走り出したので危険回避のため、右腕で抱き上げる体勢をとった際に右足太ももに違和感を感じ、しびれ及び痛みが生じ、腰部脊柱管神経圧迫症と診断される。 | 48 | 130201 | 1~ 9 |
| 4 | 19~ 20 | 老人ホーム施設内にて、利用者（女性身長140cm体重41kg）を二人介助で移乗介助のとき、利用者を抱えてストレッチャーからベッドへ移すときに右膝を内側に捻って負傷した。 | 60 | 130201 | 30 ~ 49 |
| 4 | 14~ 15 | 運送現場にて、歩行しているときに足場が不良であったため足に負荷がかかり、右足を負傷した。 | 53 | 30199 | 1~ 9 |
| 4 | 16~ 17 | シャンプー中にお客さまの頭を持ち上げた時、腰に負担がかかり激痛が走った。 | 35 | 80302 | 1~ 9 |
| 4 | 23~ 24 | 院内6病棟室内にて就寝中の患者様（男性高齢、理解度は低く意思の疎通が難しい、感情の起伏は激しい）のオムツ交換を行っていた。その際に突然対象者の正面から右前腕を掴まれ、上方にねじりあげられた。離そうと手を振るが力が強いため離れず、声を発し、他の職員と2名がかりで振りほどいた際、掴まれた右肩を痛めた。 | 51 | 130101 | 500 ~ 999 |
| 4 | 8~9 | 11番ティショットの方向確認を行う為の立ち位置から、ショットされた球の行き先を見ようと斜面を下りかけた際、負荷がかかり左膝を捻挫した。 | 19 | 140301 | 30 ~ 49 |
| 5 | 15~ 16 | 田んぼで田植えをしている機械に苗を乗せようとして、畦道の斜面の所で踏ん張ったときに左脹脛に痛みを感じ、動けなくなった。 | 58 | 60101 | 30 ~ 49 |
| 5 | 13~ 14 | キャディ業務中、No.10ホールの斜面でボールを探している時に足を滑らせ、転倒しないように捻るような体勢になり、股関節を痛める。 | 49 | 140301 | 50 ~ 99 |
| | 11~ | 入所者の居室で、昼食時の部屋移動の為にベッドから車椅子へと移乗介助 | | | 100 |

| | | | | | |
|---|-----------|--|----|--------|-----------------|
| 5 | 12 | を行っている時に、腰に激しい痛みを感じた。家で安静にしていたが痛みが治まらなかった。 | 39 | 130201 | ～ 299 |
| 5 | 16～ 17 | 広場にてラグビーの練習中、相手にタックルをされて相手の体が右膝に乗り負傷した。 | 24 | 80109 | 50 ～ 99 |
| 5 | 16～ 17 | 中庭にあるシーソーの真ん中辺りに腰掛け、砂場などで遊んでいる児童達を見守っていた時に、女子児童2名がシーソーにやってきて、シーソーの上で跳びはねたり遊びして飛び下りた際に、その反動で本人の体が飛び上がってそのままシーソーに落ちた。これが2、3回繰り返され、腰と首に衝撃が走り、当日はそのまま業務に就いたが、痛みが残った。 | 57 | 130201 | 10 ～ 29 |
| 5 | 10～ 11 | グループホーム浴室内で入浴介助中、利用者左シャワーチェアから車椅子へ移乗介助中に左膝を捻った。 | 43 | 130201 | 100 ～ 299 |
| 6 | 15～ 16 | デイサービス利用者様を自宅まで送り、居室まで歩行介助していた。居室へ入り、ベッド脇まで行った時、利用者様がバランスを崩し転倒しそうになる。介助者が抱きかかえて転倒は免れたが、利用者様の全体重が介助者にかかってしまう。体勢を立て直そうと利用者様の体を引き上げた際、介助者の体に負担がかかり、腰部に激痛が発生した。 | 46 | 130201 | 10 ～ 29 |
| 6 | 7～8 | 利用者様のトイレ介助を行っていた際、排泄のために利用者様を抱えた際に腰に痛みがはしり、歩行が困難な状態になった。業務の継続が困難であった。 | 60 | 130201 | 30 ～ 49 |
| 6 | 10～ 11 | 当園の0歳児部屋にて保育中、園児（約7kg）を背中におぶった状態で、泣いている園児（約9kg）を抱きかかえようとした際に、腰に激痛がはしった。 | 30 | 130201 | 10 ～ 29 |
| 7 | 5～6 | 馬運動場において曳き運動中（左側）、該馬が突然走り出し引きずられ、左肩部を負傷した。 | 43 | 70101 | 10 ～ 29 |
| | | | | | |

| | | | | | |
|---|-----------|--|----|--------|-----------------|
| 7 | 10~11 | 送迎を終えた母親と園外保育へ行くための職員と子どもが園を出た。通り沿いの歩道で母親を追って行こうと突然走り出した子どもを静止しようと身体を抱きかかえたところ突き離され、その勢いで膝・腰・肩を地面に強打した。 | 62 | 130201 | 10 ~ 29 |
| 7 | 13~14 | 病室で女性48kgをリクライニング車椅子からベッドへ移乗する作業中、2人で中腰になって抱えていて、背中から足の先まで電気が走った。私は上半身を抱え、同僚が下半身を抱えていた。 | 29 | 130101 | 300 ~ 499 |
| 7 | 19~ 20 | トラックの箱の中で積込作業中に庫内の温度が-10度位の環境で床が凍っていて足を滑らせ、左足1本でこらえた状態になり、左太ももの筋肉に異常をきたす。 | 50 | 40301 | 100 ~ 299 |
| 7 | 14~ 15 | 家畜診療所にて、体重概ね600kgの手術牛を係留場から手術室内へ左手に頭絡、右手に手綱を引いて搬入していた時に急に牛が走り出したので、頭絡を持ったままの左手で制しようとした際に牛が首を激しく振った為に手首を捻った。 | 41 | 170209 | 300 ~ 499 |
| 7 | 13~ 14 | 牧場内で和牛の人工授精をする為に、運動場から雌牛を枠内へ追い込む作業中に、首にロープをかけていた。牛の後方からそのロープを両手で掴み保定しようとした際、牛が急に向きを変えて走ったため、ロープに指をとられた。軍手をしていたが、その際に軍手が外され、軍手の中に切断された小指が残っていた。 | 63 | 70101 | 1~ 9 |
| 7 | 6~7 | 施設利用者の居室で、おむつ交換の業務中、ベッドの上で硬直している男性利用者の身体を移動させようと力を入れたところ、腰を捻ってしまった。その際、腰部に電気が流れたような激痛がはしり、動けなくなってしまった。しばらく安静にしていたが、徐々に痺れも出てきて歩行困難となった。 | 43 | 130201 | 30 ~ 49 |
| | | 一人目の利用者の入浴介助中、利用者が落とした洗顔料をしゃがんで拾おうとしたとき、腰が張るような違和感があった。その後、午前の入浴介助を中断して様子をみた。午後の入浴介助にあたり、腰に違和感があるため、5人目までの利用者の入浴介助では移乗介助をしなかったが、最後の | | | 300 |

| | | | | | |
|---|-----------|---|----|--------|-----------------|
| 7 | 15~ 16 | 利用者の入浴時、1人で対応して怪我をさせたら悪いと思い、2人介助にて対応した。浴槽から椅子へと2人で移乗介助をしようと、右腕を利用者の左脇下に入れ、左手を利用者の左膝下に入れる姿勢で、両脇から抱え上げたときに、腰にズキッと激しい痛みがはしった。移乗介助、着脱支援をして風呂掃除をしようとしたが、痛みが激しくなり、立てなくなった。 | 24 | 130201 | ~ 499 |
| 9 | 17~ 18 | 酪農ヘルパー出役中、育成牛を移動している時、1人が前から引っ張っていたが、動かなかったため、自分は後ろ側から尿溝にあるパンクリーナーのチェーンに左足をかけ、牛を押していたら、足首をひねったような気がしたので、押すのをやめて足をついたら痛みがあって、歩くのも痛かったので、すぐ病院を受診し、肉離れと診断され帰宅した。翌日になっても痛みが治まらなかったため、整形外科病院を受診した。アキレス腱断裂と診断され、後日手術した。 | 56 | 70101 | 1~ 9 |
| 9 | 14~ 15 | 放牧中、曳いていた馬が急に暴れ、押さえようとしたが右肩を脱臼した。 | 19 | 70101 | 100 ~ 299 |
| 9 | 11~ 12 | お風呂場にて利用者様の入浴介助中、体を洗っている際に少し痛みが走ったが、そのままサービスを続けていた。その後、転倒防止の為、床の水を拭いていたら痛みが強くなった。 | 53 | 130201 | 10 ~ 29 |
| 9 | 9~ 10 | 病室のベッドで患者の体位交換を二人で行っている時に、中腰でシートを持って患者を手前に押した際に腰に負荷がかかり、鈍い音と共に痛みが出たものである。 | 28 | 130101 | 300 ~ 499 |
| 9 | 16~ 17 | 小学校にて、警備システムの異常確認のため外周点検中に、雨水で濡れた草で滑り、足を挫いたもの。 | 43 | 170201 | 10 ~ 29 |
| 9 | 11~ 12 | デイサービスセンターの入浴介助で、体格の大きい利用者、ベッドから車いすに移乗する際に、腰に痛みが発生した。 | 44 | 130201 | 100 ~ 299 |

| | | | | | |
|----|-------|--|----|--------|-----------------|
| 9 | 8~9 | ユニット型特養の現場にて各居室介護中（移乗排泄更衣等）右手首に違和感を感じる、時間が経過するにつれズキズキと痛みを感じ始める、勤務後はそれほど痛みは気にならなかった、そして翌朝になると右手首小指側に激しい痛みを感じる。物が持てず、手首に何かが触れるだけでも痛みがあり、日常生活にも支障がでる程になり、整形外科を受診する。 | 26 | 130201 | 100 ~ 299 |
| 9 | 10~11 | 生活介護事業所活動室にて、休憩中の重度障害のある男性利用者の方を床に座った状態からソファーに移そうとし、正面から両脇に腕を差し入れ利用者の身体を持ち上げたところ、腰部にビリッと激痛がはしり、そのまま動けなくなる。 | 28 | 130201 | 10 ~ 29 |
| 10 | 16~17 | 校庭の築山のとっぺんで外遊びをしている時に、築山下で喧嘩をしている児童がいたため、止めに入ろうと咄嗟に下りたところ、ぬかるみで足を滑らせ、右足膝のあたりに身体が斜めのまま、全体重がかかってしまった。 | 55 | 120109 | 1~ 9 |
| 10 | 10~11 | デイホールにおいて、利用者が車椅子からズレ落ちそうになったので押し上げようとしたところ、腰を痛めてしまったもの。 | 65 | 130201 | 30 ~ 49 |
| 10 | 13~14 | 「福」ユニット3号室にて入居者のトイレ介助時、トイレが終わり衣服を直している時に、立たれている入居者が脱力してしまい、体を支えた際、体をひねってしまい腰を痛めた。 | 40 | 130201 | 50 ~ 99 |
| 10 | 16~17 | 訪問入浴利用者の自宅にて、訪問入浴の作業中に利用者を浴槽からベッドに戻す際に利用者の体格が大きく、また両下肢を切断されている方だったため、利用者を支える自分の手や腕が不安定となっていたところに腰に激痛が走った。 | 36 | 130201 | 30 ~ 49 |
| 10 | 7~8 | 騎乗調教中、該馬が突然暴れ旋回した際にバランスを崩し腰部を捻り、同部を負傷した。 | 42 | 70101 | 10 ~ 29 |
| 10 | 16~17 | 特別養護老人ホームで2階男性において、男性入居者の排泄介助（オムツ交換）をベッドの高さを調整せず、低いままのベッド上でおこなっていた際、前傾姿勢を保持中に腰部から臀部にかけて激しい痛みを感じた。 | 34 | 130201 | 50 ~ 99 |

| | | | | | |
|----|-----------|--|----|--------|-----------------|
| 11 | 18～ 19 | 当社構内、駐車場にトラックを駐車させ、運転席から降車する際、左足が氷のコブの様なものに乗ってしまい、滑らせて左足を捻ってしまい骨折した。 | 46 | 40301 | 50 ～ 99 |
| 11 | 15～ 16 | 牧場にて、繁殖馬を馬房に入れるため、馬を引いていたところ、急に立ち上がり、馬と一緒に右腕が上がり、激痛がはしった。 | 20 | 70101 | 10 ～ 29 |
| 11 | 13～ 14 | バイクで配達している途中、配達先にバイクを停めて降りようとした際に、左足が足元の氷で滑り左膝が内側へ入って左膝に痛みがはしった。痛みはあったがそのままその日は配達を行い終了した。翌日になっても痛みがあったため、職場へ連絡をした上で病院で受診した。 | 50 | 110101 | 100 ～ 299 |
| 11 | 14～ 15 | 駐車場で、出勤の為、車から降り、職員玄関に向かって3～4歩、歩いた時、早朝から降り積もった雪の下の氷で滑って足を取られ、体勢を崩し体を捻ってしまい、ボキボキと言う背骨の音と共に激痛で、その場から動く事が出来なくなり、休憩で出て来た同僚に助けを求め救急車を呼んでもらい、その日は日曜日ということでもあり、救急隊の指示により、当番医に搬送されそのまま入院となった。 | 55 | 80209 | 50 ～ 99 |
| 11 | 8～9 | 取引先に設置されている自動販売機の故障対応のため、鍵を借り、凍結路面となっていた自動販売機前で転倒し、左足首を凍結路面に強打した。 | 41 | 80109 | 10 ～ 29 |
| 11 | 10～ 11 | 新築体育館の建設工事現場内で、1階にてコンクリート壁に電動ドリルで32mm径の穴をあける作業をしている時に、ドリルの刃先が壁内の金属部に引っ掛かり、ドリル本体に手首を振られて、右手首を負傷した。 | 35 | 140301 | 50 ～ 99 |
| 11 | 15～ 16 | 入居者の方の個室に訪問すると転倒していた。転倒された方の離床介助のため起こそうとするが相手方の体の強張りがあり、腰に痛みを感じた。次の日痛みがひどくなった。 | 40 | 130201 | 100 ～ 299 |
| 12 | 14～15 | スキー場にてパラレルとストップの練習のデモンストレーションを行った際に左足をひねり膝を負傷した。 | 21 | 80409 | 100 ～ |

| | | | | | |
|----|-------|--|----|--------|-----------------|
| | | | | | 299 |
| 12 | 13~14 | 当該乗務員は、出番日に於いて、勤務中、足が不自由で車いすを使用していたお客様を病院から自宅までお連れし、お客様の履物がスリッパであった為、親切心で玄関先までおんぶをした所、腰を痛めたもの。 | 62 | 40201 | 300 ~ 499 |
| 12 | 9~10 | 敷地内洗い場と厩舎の間で、馴致のため、本人が調馬索を持ち、同僚が同馬を引いていたところ、突然同馬が暴れ、前へ駆け出し、左右に激しく動いた為、2人とも引っ張られ、左右に振られる状態になった。暴れる馬を抑えるため、紐を引いた際、腰に強い痛みが走った。 | 40 | 70101 | 10 ~ 29 |
| 12 | 11~12 | 砂利の駐車場で事故車両の積込作業中、事故車両と荷台スライドスペースを確認し後部アオリを下げようと積載車に戻る時、地面の凹凸が前日の雪で見えず、右足を着いた時に指先に無理な力がかかり、足を負傷した。 | 40 | 11701 | 1~ 9 |
| 12 | 11~12 | バックヤードでパンを製造中、前月に痛めた右手首をかばいながら作業をしていたため、左手首を痛めた。 | 57 | 80201 | 100 ~ 299 |
| 12 | 10~11 | 入浴介助中に、入居者を湯船から中腰姿勢で抱きかかえた際、腰部に激痛がはしった。痛みが治まらなかったため受診し、その後はコルセットを装着し、腰をかばいながら業務を行っていた。2ヶ月後、入居者居室内にて車椅子からベットへ移乗介助するため、入居者を抱きかかえた際に腰部に激痛がはしった。 | 26 | 130201 | 30 ~ 49 |
| 12 | 10~11 | 利用者居室内にて、利用者（男性60kg）が転倒しており、片麻痺のある方で手足に力が入らず、全介助にて行ったため腰痛を発症した。 | 50 | 130201 | 10 ~ 29 |
| 12 | 2~3 | 院内5病棟病室にて、体位交換の実施時、前傾姿勢で患者の体位交換をしている際に、本来であれば2名で行う体位交換を1名でしていたため、思うように力が入らず左胸部を痛めた（左肋骨骨折）。 | 42 | 130101 | 500 ~ 999 |

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_08.html